

各部局等の長 殿

高浜市長 吉岡初浩

平成24年度（2012年度）予算編成について

平成24年度の予算編成は、「第6次高浜市総合計画」を着実に推進していくことはもとより、将来を見据えた安定的で持続可能な財政基盤の構築を図るため、『高浜市の未来を創る予算』と位置付け、計画的で効果的かつ健全な財政運営に努めることとし、これを踏まえて、全事業の内容を精査・再点検する『1件査定』を実施する。

1 本市の財政見通し

最近のわが国の経済状況は、東日本大震災の影響や引き続く史上最高水準の円高傾向、さらには低迷する海外経済情勢などにより、依然として先行き不透明な状況にある。

これまで、本市では、構造改革推進検討委員会から提言された報告書に基づく「財政力の強化」、さらには、リーマンショックを受けて、平成22・23年度の2年間に亘る「緊急財政方針」を策定するとともに、「高浜版事業仕分け」などに取り組み、将来へ向けた財政基盤の構築に挑んできた。

しかし、扶助費の更なる増加など、歳出の増に対し、市税など歳入の増は期待できず、地域主権改革に伴う一括交付金など、国の地方財政対策等に係る動向等も不確定な要素が多いことから、引き続き財源の面では余裕がなく、逼迫した状態が続くと見込まれる。

先に試算した中期財政計画における財政収支の見通しでは、歳入の根幹を成す市税収入は、雇用・所得環境の低迷や新規設備投資の抑制などから増額は見込まず、依然として、財源の確保は厳しい状況となる見込みである。

一方、歳出面では、少子高齢化対策や不況に伴う生活保護費といった社会保障関係経費などの経常経費は年々増加し、今後も避けられない状況にある。さらに、東日本大震災に伴って高まる防災対策の強化や、公共施設の老朽化への対応など、市民生活に関わる喫緊の課題に、時機を逸することなく的確に対処していかなければならない。

これまでに膨れ上がった事業費は、歳入に対する適正な歳出規模を大幅に上回る状況で、中期財政計画における平成24年度の歳入歳出の乖離額は、約11億円となっており、この財源不足額は、財政調整基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況となっている。

このような、厳しい財政状況を職員一人ひとりが認識したうえで、徹底した事務事業の見直しにより歳出の削減を図ることで財源を捻出し、「第6次高浜市総合計画」の目標達成に向けて収支不足を解消していかなければならない。

2 未来へ向けて着実に歩むために

平成23年度から、市民と行政の英知と希望の結集である高浜市の未来を創る設計図「第6次高浜市総合計画」の計画期間がスタートし、未来に向かって新たな一歩を踏み出した。今後は、目指すべき将来都市像「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を実現するべく、4つのまちづくりの目標達成に向け、その具体的な内容を示す行動計画であるアクションプランをはじめとした諸施策を着実に推進していかなければならない。

平成24年度からは、「第6次高浜市総合計画」の進行管理に行政評価システムを導入し、市民が主役の経営を行うステージの幕開けとなる。基本構想に掲げるまちづくりの基本目標の実現に向け、市民とともにPDCAサイクルを回し、効率的かつ効果的な取り組みを着実に推進していくことが必要不可欠である。

なお、今年5月に、新たな経営改革に取り組むため、高浜市経営改革プロジェクトを立ち上げ、現在、「財政規律と予算編成の改革」分科会において、財政健全化を図るための中期財政フレームの策定及び予算編成手法の見直し等について議論しているところであり、その結果を待って、平成25年度以降の予算編成のあり方を見直すこととしている。

3 平成24年度予算編成の考え方

平成24年度の予算編成では、「高浜市の未来を創る予算」として、次のとおり3つの基本的な考え方を掲げることとする。

i) 総合計画の着実な推進

「第6次高浜市総合計画」を着実に推進し、さらに効率的、効果的な事業運営に取り組み、「納得のいく経費で納得のいく効果」を創出し、将来を見据えた安定的・継続的な財政基盤の構築を図ること。

ii) 中期財政計画の遵守

中期財政計画に基づき、既存事業の聖域なき見直しによりムダを排除し、限られた貴重な財源を有効に活用するため、緊急度・優先度が高い事業（今すべきこと）に重点を置いた予算配分を行う。

iii) 市民目線の重視

常に市民の視点（当事者の視点・当事者以外《納税者》の視点）に立って、スピード感と創意工夫を持って、市民サービスの向上を図ること。また、市民に分かりやすい財政運営を行うため、予算編成過程の透明性を確保する。

各部署長においては、「高浜市第6次総合計画」の着実な実現に向けて、「中期財政計画」を遵守し、限られた財源の中で、事業の優先順位を付けて、「あれかこれか」を選択し、メリハリのある予算編成を実践するとともに、さらなる職員の意識改革により、「未来の高浜市を創る礎」となる予算編成を期待する。